

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 交流文化部

所属名 インバウンド交流課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦多文化共生推進事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和12年度	9,988	-	2,783		7,205	拡充
福井県・浙江省青少年交流事業	8 世界のふくいファンを拡大	政策的経費	平成27年度	—	1,913	-			1,913	継続
外国人総合相談体制強化事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和7年度	令和12年度	27,146	-	8,940		18,206	継続
㊦外国人地域おこし協力隊による地域の国際化推進事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和5年度	令和8年度	8,097	-			8,097	拡充
㊦地域日本語教育の総合的な体制づくり事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和8年度	令和12年度	13,853	-	6,926		6,927	—
インバウンド受入環境整備事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	12,407	-	718		11,689	継続
国際観光推進事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	平成16年度	令和9年度	40,945	-	4,996		35,949	継続
海外旅行会社との取引拡大推進事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	141,897	-	51,909		89,988	継続
世界に向けた観光コンテンツ発信事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	66,878	-	28,848		38,030	継続
㊦海外富裕層誘客促進事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	39,166	-	19,583		19,583	拡充
インバウンド観光地域づくり推進事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	32,082	-	16,041		16,041	継続
首都圏在日外国人をターゲットとした誘客促進事業	9 新幹線開業効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	6,275	-	3,137		3,138	継続
ブラジル福井村等との若者交流事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和6年度	令和7年度	/	-	/		/	完了
グローバル人材育成に向けた留学促進支援事業	8 世界のふくいファンを拡大	政策的経費	令和6年度	令和7年度	/	-	/		/	廃止
					400,647		143,881		256,766	

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和8年度
⑧ 多文化共生推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	令和8年3月に策定する第2次福井県多文化共生推進プランの基本理念・施策目標に基づき、当事者相互のネットワークを強化するとともに、外国人住民の地域参加を促進することにより、多文化共生の地域づくりを推進する。				
事業内容	(1) 「ふくい多文化共生推進ネットワーク」の運営 (2) 外国人住民の地域参加促進に向けて取り組む地域や団体等に向けた助言・対応および伴走支援 (3) 「ふくい外国人住民地域参加応援金」 (4) 多言語版 第2次福井県多文化共生推進プランの制作 (5) 災害時における外国人支援に関する研修会の開催 (6) 「ふくい外国人コミュニティリーダー」事業 (7) 国際交流協会ホームページの自動翻訳システム運営				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,988		2,783		7,205
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人住民と関わりのある日本人住民の割合	50%	33%	令和12年度
	活動指標	多文化共生推進プラン期間（令和3～7年度）に累計10団体を支援	3	3	令和7年度
事業評価	福井県の多文化共生に関わる産官学のネットワーク運営、応援金による活動支援等により多文化共生の推進しつつ、令和8年度から今後5年間の多文化共生施策の方向性を示す第2次福井県多文化共生推進プランを策定することができた。 <事業実績> ・R7応援団体数 3団体（R3からの累計：10団体） ・ふくい多文化共生推進ネットワーク登録数 96団体・個人（R8.2月末） ・第2次福井県多文化共生推進プラン 策定				
区分	拡充	成果指標 目標は令和12年度 実績は令和7年度			

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
8 世界のふくいファンを拡大				事業開始年度	平成27年度
福井県・浙江省青少年交流事業				事業終了年度	—
事業目的	福井県・浙江省の青少年交流を促進し相互理解を深めることにより、国際社会の中で活躍できる視野の広い人材の育成を図る。				
事業内容	浙江省中学生の受入れ、スポーツ交流・生活体験 ①受入人数 中学生10名、引率者2名 ②受入期間 4泊5日（予定） ③学習・体験内容 浙江省中学生とのスポーツ・文化体験を通じた交流等 ④受入者の決定 浙江省政府が決定 ⑤費用負担 日本到着後の交通費、滞在費、食費等、全ての経費は福井県が負担 中国国内の移動費は浙江省が負担				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,913				1,913
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	受入（派遣）人数	10	10	令和7年度
	活動指標	受入（派遣）応募人数	10	43	令和7年度
事業評価	県内中学生を中国浙江省へ5日間派遣し、現地の中高生との交流や、文化施設見学等により、福井県・浙江省の青少年間の相互理解の促進や国際的な視野を持つ人材の育成に資することができた。 <事業実績> ・派遣人数：10名 ・応募人数：43名				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和7年度
外国人総合相談体制強化事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	外国人が住みやすい環境を整備するため、県内在住外国人への生活・就労等に関する情報提供や外国人に寄り添う相談対応を行う一元的かつワンストップ相談体制を運営				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 住民登録時における支援情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・各市町窓口での外国人相談センターや支援内容の周知強化 (2) プッシュ型外国人支援の仕組み構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい外国人コミュニティリーダー等を通じた情報発信 ・問題を抱える外国人と外国人相談センターとの橋渡し (3) 外国人に寄り添ったワンストップ相談体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・相談から解決まで寄り添う「同行支援」を行う支援員を配置し、各機関と相談内容を共有し、解決策を検討 ・在住外国人向け一元的相談窓口「ふくい外国人相談センター」の運営（福井市、敦賀市） ・オンライン法律相談の開催 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	27,146		8,940		18,206
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人相談解決割合	60	現時点では未確定	令和7年度
	活動指標	外国人からの相談件数	1200	現時点では未確定	令和7年度
事業評価	<p>相談から解決まで寄り添う「総合支援コーディネーター」をふくい外国人相談センターに配置し、外国人が抱える問題の解決に向けて総合的に支援できるように体制を強化することができた。</p> <p><事業実績> 外国人からの相談件数：1,334件（1月末時点）</p>				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和5年度
⑧ 外国人地域おこし協力隊による地域の国際化推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	外国人地域おこし協力隊が多文化共生ステークホルダー（市町、日本人・外国人キーパーソンなど）と連携して地域の国際化を促進し、外国人の社会参画をサポートする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生推進ネットワーク加盟団体等の取組事例の発信・共有 ・県内市町における地域の国際化に関するワークショップや出前講座等の実施 ・多文化共生に取り組む地域に対して外国人目線でのアドバイス・サポート ・ふくい外国人コミュニティリーダーのネットワーク化および組織化支援 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,097				8,097
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人住民と関わりのある日本人住民の割合	50%	33%	令和12年度
	活動指標	地域の国際化に関するワークショップや出前講座等の実施件数	12	11	令和7年度
事業評価	<p>外国人ならではの目線を活かして、多文化共生に関するSNS投稿や、自主的なイベント開催を通して外国人住民と日本人住民の交流の場を作ることができた。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の国際化に関するワークショップや出前講座等の実施 11件 ・多文化共生相談窓口開催 22回(1月末までの累計) ・多文化共生推進ネットワーク加盟団体等の取組事例の発信・共有 累計9件 ・県内に在住の外国ルーツの方を特集(福井人 外国人版) 累計7件 				
区分	拡充	成果指標 目標は令和12年度 実績は令和7年度			

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和8年度
⑧ 地域日本語教育の総合的な体制づくり事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	外国人住民が地域で安心して暮らし、働き、学ぶために、生活・就労・教育などの場面で役立つ日本語を学べる環境を整備する。あわせて、日本人住民と外国人住民が相互に理解し合い、共に生きる地域社会の形成を目指す。				
事業内容	(1) 県内の地域日本語教育に関する実態調査の実施・基本的な方針の策定 (2) コーディネーターの配置 (3) 地域日本語教育の推進 (4) 「やさしい日本語」の普及に向けた研修（嶺北、嶺南で各1回開催）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	13,853		6,926		6,927
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内在住外国人における日本語学習者の割合	10.0%		令和8年度
	活動指標	日本語教室の開催コース数	4		令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
インバウンド受入環境整備事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	外国人観光客が快適に旅行できる受入環境を整え、消費拡大を促していくため、県内観光事業者のインバウンド対応の意識醸成や受入体制の構築を図るとともに、市町との協働により外国人観光客の受入環境を面的に整備する。				
事業内容	(1) 観光事業者の意識醸成、安心して受け入れできる体制づくり (2) 多様な宗教的、文化的習慣を有する旅行者の受入環境の充実 (3) 市町等への外国人観光客の受入環境整備に対する経費支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,407		718		11,689
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	消費税免税店数	260	263(R6.9月末)	令和7年度
	活動指標	受入環境整備に対する支援件数	7	4	令和7年度
事業評価	インバウンド受入に関する事業者へのセミナー開催や市町へのインバウンド受入環境整備に対する経費支援等により、観光案内板や店舗における多言語対応等を進め、外国人観光客が快適に旅行できる環境を推進することができた。 <事業実績> ・セミナー開催：5回（1月末時点） ・市町へのインバウンド受入環境整備に対する支援：4件				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成16年度
国際観光推進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	国・地域別に旅行者の嗜好や主な年齢層といった属性を踏まえたプロモーション活動を展開し、本県への誘客拡大を図る。				
事業内容	(1) ブローチャー、ノベルティ作成等 (2) 教育旅行誘致に向けた営業活動 (3) 台湾旅行博での現地旅行会社との連携 (4) 他県や他団体と連携したプロモーション活動 (5) インバウンド向け多言語観光情報サイトの運営・デジタルプロモーション (6) 外国人旅行者のアンケートデータ収集 (7) バスツアーに対する助成				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	40,945		4,996		35,949
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人宿泊者数 (※暦年)	140,000	110,240	令和7年速報値
	活動指標	誘客活動実績	8	8	令和7年度
事業評価	台湾における海外旅行博への参加、商談会の開催、ホテルコンシェルジュを招へいした視察など誘客拡大にプロモーションを実施し、活動指標は目標を達成した。外国人延べ宿泊者は初めて10万人を突破して過去最高を更新したものの、国際情勢の影響もあり、成果指標の達成には至らなかった。 ・東アジア：+12.0% ※香港から大きく減少、台湾・中国・韓国いずれも増加 ・東南アジア：+48.6% ※桜や雪の時期を中心に、タイからの宿泊が大きく増加 ・欧米豪：+34.9% ※現地プロモーションを実施しているアメリカやフランスが特に増加				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
海外旅行会社との取引拡大推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	海外の旅行会社に対して営業を行い、旅行商品造成を図るとともに、県内観光事業者と海外旅行会社をマッチングするインバウンドデスクや商談会等を通じて、本県への誘客拡大を図る。				
事業内容	(1) インバウンドデスクの設置 (2) 各国における営業代行等 (3) 近隣空港からの誘客促進 (4) 海外旅行会社へのセールス活動支援 (5) 海外旅行会社の県内視察に対する支援 (6) 東京のインバウンド旅行会社向けPRセミナーおよび商談会				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	141,897		51,909		89,988
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人宿泊者数（※暦年）	140,000	110,240	令和7年速報値
	活動指標	海外旅行会社への営業	280	1,479	令和7年度
事業評価	各国での営業代行による継続的な営業活動や県内事業者と連携した台湾・香港での旅行会社へのセールスを通じて、海外旅行会社への営業を弾力的に展開した。外国人宿泊者数の増加に寄与したが、国際情勢の影響もあり、成果指標の達成には至らなかった。 <事業実績> ・営業代行による営業活動（中国香港270件、台湾48件、タイ895件、米国197件） ・インバウンドデスクによる海外からの相談対応件数 69件 ・海外旅行会社へのセールス活動支援 県内7事業者				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
世界に向けた観光コンテンツ発信事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	訪日旅行を考える個人の外国人観光客向けの露出を増やすことにより、本県認知度の向上と県内への誘客を図る。				
事業内容	(1) インフルエンサー等による情報発信 (2) WEB広告等を活用した認知度向上・誘客促進 (3) OTA（オンライン旅行会社）サイトへのコンテンツ掲載・磨き上げ支援 (4) OTA上での販売促進プロモーション (5) JR西日本との共同による「DISCOVER FUKUIキャンペーンin台湾（仮）」 (6) 本県に立ち寄る周遊パス等の販売				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	66,878		28,848		38,030
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人宿泊者数（※暦年）	140,000	110,240	令和7年速報値
	活動指標	海外への情報発信回数	—	31	令和7年度
事業評価	SNS発信やOTAでの特集記事掲載により本県の認知度向上を図るとともに、大阪・関西万博来訪者向けに万博会場でのツアー販売や京都駅観光案内所でのPRを実施し、関西からの本県への周遊を促進した。旅マエ・旅ナカでの多角的な情報発信により外国人宿泊者数は増加したが、成果指標は未達成となった。 〈事業実績〉 ・旅マエ情報発信：インフルエンサー等による情報発信2回、OTAコンテンツ登録25件 ・旅ナカ情報発信：JR高輪ゲートウェイでのプロモーション2か月、万博での情報発信				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
⑧ 海外富裕層誘客促進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	消費単価が高い特に欧米豪からの誘客を促進するため、地域と連携した富裕層向けコンテンツの磨き上げ、受け入れ体制の整備、ガイド育成などを進めるとともに、観光商品の販売促進のため、海外でのプロモーションや販路拡大に向けた売込みを強化し、インバウンドの消費単価向上を目指す。				
事業内容	(1) コンテンツ磨き上げ・受け入れ体制整備 (2) プロモーション・コネクション、販路形成				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	39,166		19,583		19,583
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人観光客1人あたりの消費単価（万円）	3.6	4.3	令和6年
	活動指標	富裕層を取り扱う旅行会社やDMCの招請	2	17	令和7年度
事業評価	地域資源を活用した体験コンテンツの磨き上げとモデルコースの造成により、海外富裕層の受入体制を整備した。あわせて、海外旅行会社や全国DMC、ホテルコンシェルジュ等を招へいし、売込みと評価の機会を通じてコンテンツの改善を実施するなどして、今後の送客・販売体制構築に向けた準備を進めた。 〈事業実績〉コンテンツ造成5件、モデルコース造成2件 FAM招へい17社（名）※海外旅行会社2社、全国DMC3社、ホテルコンシェルジュ5社、高付加価値旅行ガイド7名				
区分	拡充				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
インバウンド観光地域づくり推進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県内DMOが主体となってインバウンド観光に取り組む地域の基盤づくりを推進するため、インバウンドの専門人材を配置するほか、インバウンド誘客に取り組む観光団体の支援を行う。				
事業内容	(1) インバウンドマーケティングプランナーの設置 (2) インバウンドアドバイザーの設置 (3) 県内DMO等へのインバウンド事業支援、外部専門家によるアドバイザリー				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	32,082		16,041		16,041
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人宿泊者数（人）※暦年	140,000	110,240	令和7年速報値
	活動指標	述べ事業者個別訪問数（件）	210	262(1月末時点)	令和7年度
事業評価	インバウンドアドバイザーや外部専門家による県内事業者への個別支援（多言語翻訳アプリの使い方説明、OTAへの掲載登録促進、事業者連携による体験コンテンツづくり等）を行うことにより、インバウンド観光に取り組む地域の基盤づくりを推進できた。 <事業実績> ・インバウンドアドバイザーによる事業者への個別訪問：262件（1月末時点） ・外部専門家によるDMO等への伴走支援：6社				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 新幹線開業効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
首都圏在日外国人をターゲットとした誘客促進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	各国の大使館が集中するという東京の地域性を活かし大使館訪問や在住外国人コミュニティへのアプローチを行うことにより、本県への首都圏在住外国人の誘客を促進し、インバウンドの増加につなげる。				
事業内容	(1) 大使館等でのレセプション、在日外国人向けイベントブース出展 (2) 在日外国人向け雑誌等への掲載 (3) 外国語版チラシの作成 (4) 大使館、社交場等への訪問				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,275		3,137		3,138
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	外国人宿泊者数（※暦年）	140,000	110,240	令和7年速報値
	活動指標	大使館等への訪問数	25	32	令和7年度
事業評価	・大使館、在京海外機関への訪問について活動指標の目標値を大きく超えて達成。 ・また成果指標については現時点では不明だが、在日外国人向けイベントへ出展、在日外国人向けWEBサイトでの情報発信等を行っており、昨年度に比べて外国人宿泊者数の増加が見込まれる。				
区分	継続				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和6年度
ブラジル福井村等との若者交流事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	ブラジル福井県人会創立70周年に合わせ、国の「万博国際交流プログラム」を活用し、福井村の若者を招聘や、県内学生の福井村への派遣などによる交流の活発化を図り、ブラジルと本県との次世代交流やインバウンド受入拡大へつなげる。				
事業内容	(1) ブラジル館関係者の福井招聘 (2) 万博会場での太鼓披露と県立大学での若者同士の交流 (3) 福井村の日本語学校と高椋小学校との絵画交流（随時）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,000			5,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	事業の参加人数	200	555	令和7年度
	活動指標	—			令和7年度
事業評価	<p>ブラジル福井村の若者を招聘し、大阪・関西万博で和太鼓の披露したほか、県内において県内学生との交流や小学校での絵画交流を行った。また、ブラジル大使館職員を県内の観光地等に招聘し、万博ブラジル館のテーマ「環境」に関する専門家と交流したほか、県内観光資源についてのインバウンド目線での意見を貰った。結果、今後の周年事業も含めた福井とブラジルとの交流継続の一助とすることができた。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル大使館職員県内交流人数 5人 ・ブラジル福井村太鼓部 交流人数 約150人 ・絵画交流人数 約400人 				
区分	完了				

		交流文化部	インバウンド交流課	事業年度	令和 8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
8 世界のふくいファンを拡大				事業開始年度	令和6年度
グローバル人材育成に向けた留学促進支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	海外展開を目指す県内企業の雇用ニーズ等にマッチしたグローバル人材の育成を促進すべく、留学を志す学生を支援する。				
事業内容	留学生に対する奨励金の支給 対象者：県内の大学に在籍し、英語圏の大学に留学する学生で帰国後、県内で就職予定の者 支給額：800千円／人 支援人数：5人				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,000				4,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	支援する留学生数	5	3	令和7年度
	活動指標	事業説明実施大学・機関数	3	3	令和7年度
事業評価	円安・物価高が継続し、学生にとって経済的負担が増える中、留学時の渡航費用等の初期費用として奨励金を支給することにより、県内大学生3名の英語圏留学を支援することができた。 <事業実績> 支援する留学生数 3名				
区分	廃止				